

特集コーナー紹介



◆ 一般特集コーナー (特設5) ◆  
 ◆ 第一六五回芥川賞・直木賞決定! ◆



◆ 児童特集コーナー (1A棚) ◆  
 ◆ 夏休みお助けBOOK ◆  
 自由研究・工作・読書感想文

その他の特集コーナー  
 ・夏の絵本 (1A棚)  
 ・夏対策〜夏バテや熱中症に  
 ならないために〜 (7棚) など

■ 新着本紹介 ■

新刊の一部をご紹介します

<p>一般書</p> <p>『熊本城天守閣 常設展示図録』 (熊本日日新聞社)</p> <p>『医学のひよこ』 海堂尊 (KADOKAWA)</p> <p>『スモールワールズ』 一穂ミチ (講談社)</p>	<p>『体がバテない食薬習慣』 大久保愛 (ティスカヴァー・トゥエンティワン)</p> <p>『まんが 子どものいない私たちの生き方』 森下えみこ (小学館)</p> <p>『気象予報士・予報官になるには』 金子大輔 (ペリかん社)</p> <p>『にぎやかな落日』 朝倉かすみ (光文社)</p> <p>『己丑の大火』 (照降町四季2) 佐伯泰英 (文藝春秋)</p> <p>『キネマの天使』 赤川次郎 (講談社)</p>
<p>児童書・絵本</p> <p>『もりの100かいだてのいえ』 いわいとしお (偕成社)</p> <p>『カブトムシの音がきこえる』 小島渉 (福音館書店)</p> <p>『ランベシカ』 菅野雪虫 (講談社)</p>	<p>『みんなが知りたい! 気象のしくみ』 菅井貴子 (メイツユニバーサルコンテンツ)</p> <p>『ずかんヒトの細胞』 牛木辰男 (技術評論社)</p> <p>『そらまめくんのまいにちはたからもの』 なかやみわ (小学館)</p> <p>『トレトレイレ』 うえだしげこ (大日本図書)</p> <p>『絵本江戸のくらし』 太田大輔 (講談社)</p> <p>『Fができない』 升井純子 (文研出版)</p>

■ 中央図書館カレンダー ■

7月							8月						
日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3	1	2	3	4	5	6	7
4	5	6	7	8	9	10	8	9	10	11	12	13	14
11	12	13	14	15	16	17	15	16	17	18	19	20	21
18	19	20	21	22	23	24	22	23	24	25	26	27	28
25	26	27	28	29	30	31	29	30	31				

【開館時間】 火～金曜9時～19時 土日、祝日9時～17時  
 ※8月の古文書学習会、みずのわ読書会はお休みです

- は休館日
- ◇ しあわせおはなし会 10:30～
- おはなし会 14:00～
- 古文書学習会 14:00～
- △ みずのわ読書会 10:00～

問合せ先 天草市立中央図書館  
 TEL: (0969) 23-7001

夏休み マナーを守って図書館を利用しましょう

夏休み期間中はいつもより多くの方が図書館を利用されます。快適に利用できるように、一人一人マナーを守って気持ちよくご利用ください。

みんなで気持ちよく図書館を利用するために

- ・大きな声で話しません
- ・マスクを着用します
- ・感染予防のためイスは指定の場所から動かしません
- ・飲み物はフタがきちんと閉まるものに限り館内に持ち込みます
- ・席に荷物を置いたまま長時間離れません
- ・館内で携帯電話での通話やゲームはしません



▲ 館内閲覧席 自由にご利用できます

ワークショップ “恐竜の復元画を描こう”

参加者募集します!

【講師】 黒須弘美さん (天草市立御所浦白亜紀資料館学芸員)

【日時】 8月28日(土) 10時～11時30分

【場所】 複合施設こらす会議室 ABC

【定員】 30人 (抽選) **締め切り8月20日(金)**

【対象】 小学生、中学生 (小学1～3年生は保護者同伴)

【持ってくるもの】 えんぴつ、消しゴム、色えんぴつ

【申込】 ・図書館カウンター  
 ・電話 0969-23-7001  
 ・2次元バーコード

★館内で展示ブースを設けて本を紹介しています



講演会 “「天草の崎津集落」世界遺産登録からの3年を振り返る”

7月14日(水)こらすにおいて、講師の文化課 中山学芸員を招いて、崎津集落の価値、保全活動の重要性について学びました。図書館では下記図書など潜伏キリシタン関連本を展示しています (7月31日まで)



熱心に話を聴く参加者の皆さん▲



- ▲ 潜伏キリシタン図譜 (五野井隆史/監修) (潜伏キリシタン図譜プロジェクト実行委員会)
- ▲ コラボ展示図書  
 『世界遺産の里崎津』 小林健浩 (熊本日日新聞社)  
 『天草キリシタン遍路』 玉木謙 (熊日出版) など

図書館レポート 図書館の毎月のイベントの様子をご紹介します。

おはなし会は対象年齢に応じて2つのおはなし会を開催しています。参加申込みはカウンターまたはお電話で。古文書学習会は実際の古文書を使い、読み方など学びます。新規申込みはカウンターまでお声がけください。

<p>▲ しあわせおはなし会 (定員10組(乳幼児向け))</p>	<p>▲ おはなし会 (定員20名(幼児向け))</p>	<p>▲ 古文書学習会 (8月は休み)</p>
-----------------------------------	------------------------------	-------------------------

梅雨がやっと終わり、少しほっとしていると蝉が急に騒ぎ出しました。蝉の声は暑さを倍増させますね。我が家の15歳になる老犬は雨が上がったので、木陰が多い近くの公園まで散歩ができるようになりました。私の母は動物が大好きで、骨折するまでは犬の世話をしてくれていましたが、散歩が出来なくなり淋しそうにしていたのでロボット犬を買ってあげようかと真剣に考えたことがありました。AIが進化し、人間の能力を超える時期(シンギュラリティ)がくるという説もあります。カズオ・イシグロさんがノーベル賞受賞後はじめて出版された『クララとおひさま』は、子どものための人工親友ロボット(AF)クララが主人公で病弱な少女の家に買われていきます。クララは観察力と学習能力に優れていて、あらゆる情報を吸収成長していきます。ドイツの哲学者、マルクス・ガブリエルはAIが人間を支配しないと書いていました。それは動物には知性があり、コンピュータには知性がないからという理由ですが...イシグロさんが描くクララは知性もあり感情もあります。病気が重篤化した親友ジョージを必死で助けようとするクララに私は無償の愛を感じました。「クララはカズオ・イシグロが創ったもっとも美しい子供だ」「興味深いテーマをさまざまに描きわめて魅力的な作品」と慶應義塾大学の河内教授はあとがきを書いておられました。私ももう一度読みたい作品です。同時期に読んだ『ロボット・イン・ザ・ガーデン』は映画化されるそうですが、とても愛らしい子どものロボット、トングが主人公です。読後トングロスを感じた方も多く続編が出版されました。ホッとしたい方にお勧めです。暑い季節も読書に適した環境でみなさまをお待ちしています。是非ご利用ください。 【文・中央図書館長】